

# 矢賀学区だより

第439号(毎月1回)  
令和 元年12月 1日  
編集発行  
矢賀学区連合町内会  
矢賀学区社会福祉協議会

## ふれ愛・イン・やが

十一月十六日(土)、矢賀小学校・矢賀幼稚園・矢賀児童館を会場として第二十二回「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」が開催されました。

地域の皆様・小学校・PTAなどから構成するふれあい推進委員会を中心に、夏ごろから計画を立て、準備を進めて参りました。

今年のオープニングセレモニーは、昨年度で矢賀小学校を退職された城先生率いる「やが和太鼓クラブ」が演奏して盛り上げてくれました。昨年までの吹奏楽の演奏とは趣が異なり、和太鼓の音が体に響き渡り、とても迫力のある演奏で魅了してくれました。身近な友達が、普段とは違う引き締まった表情で和太鼓を叩く姿に、驚きとともに感動した児童も多かったのではないだろうか。そして、昨年サプライズ演奏してくださった先生バンドが、今年もまた合唱曲を演奏し、児童みんなが嬉しそうに歌う姿がとても印象的でした。地域の方々からも、「ぜひ今後先生バンドを続けてほしい!」と大好評でした。

オープニングセレモニーの後は、地域団体やPTAによるふれあいコーナーが開かれ、工作ブース、スポーツアトラクションブース、ゲームブースなど、たくさんのブースが児童や園児たちを楽しませてくれました。工作ブースでは、二葉中学校のボランティア五名が参加してくださり、小さい子に優しく丁寧に教えている姿に、心温まるふれあいを見ることができました。また食事ブースでは、体協・女性会の皆様のご協力により、うどんやおにぎり、いなり、肉まんを販売していただき、お腹も心も満たされました。

また、この「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」では毎年献血を行っておりますが、今年は60名の方から貴重な血液をご提供いただきました。児童にとつては、献血の必要性を学ぶ良い機会にもなったかと思ひます。

このような、地域と小学校、幼稚園が一体となつて行われる大きなイベントは、他の学区にはなかなか無く、ここ矢賀学区では地域の皆様に温かく見守られ、そして支えられながら、子供たちが伸び伸びと成長させていただいていることを改めて実感いたしました。

「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」が、矢賀学区の大切なイベントとして今後も

受け継がれていくよう、ふれあい推進委員会といたしましても、より充実した内容になるよう努力して参りたいと思ひます。

最後に、多くのご理解ご協力により無事に開催できましたことを、心より感謝いたします。



オープニングセレモニー

室内雪合戦



ふれあい推進委員会

委員長 國清順一

## ボランティアバンク 年末・年始のカレンダー

矢賀学区社会福祉協議会のボランティアバンクは、年末年始のカレンダーを次のようにいたします。

※年末・年始カレンダー※

|     | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 12月 | 1  | 2  | ③  | 4  | 5  | 6  | 7  |
|     | 8  | 9  | ⑩  | 11 | 12 | 13 | 14 |
|     | 15 | 16 | ⑰  | 18 | 19 | 20 | 21 |
|     | 22 | 23 | ⑳  | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 1月  | 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |
|     | 5  | 6  | ⑦  | 8  | 9  | 10 | 11 |

(注)○＝従来どおり派遣申込受付  
／＝バンクと作業は休みます(網掛け)

ボランティアバンクは、次の支援活動を展開しています。

- 一、ゴミ出しの手伝い
- 二、庭の草取り
- 三、電燈の交換
- 四、話し相手や相談・散髪ほか

どうぞ利用して下さい。

毎週火曜日10時～11時30分  
矢賀学区社会福祉協議会  
ボランティアバンク係  
矢賀中央集会所285・8163

## 矢賀学区連合町内会 矢賀学区社会福祉協議会

十二月～一月の  
主な行事予定

十二月  
1日(日)

男女ペアグラウンドゴルフ大会

10時～

矢賀小学校

7日(土)

東区コミュニティ交流協議会

東区区民大会

10時～

東区民文化センター

大ホール

15日(日)年末一斉清掃

一月

5日(日)新年互礼会

11時30分～

矢賀中央集会所

## 小学校だより

十一月十六日(土)第二十二回ふれ愛・イン・やが&防災フェアが行われました。地域の各種団体、保護者、学校、幼稚園が連携を密にして長い期間をかけ、準備をして行われるこの行事が、二十年以上も継続していることに敬意を表したいと思います。と同時に、関わってくださるすべての皆さんが、児童や園児のためにご努力くださっていることに心よりお礼を申し上げます。

オープニングでは、これまで、消防音楽隊、二葉中学校、瀬戸内高等学校の吹奏楽部の演奏を聴いていただき、今年度から、「やが和太鼓クラブ」が発表をしてくださるようになりました。ご承知の方も多いと思いますが、この三月まで本校で教頭を務めてくださった城先生が、昨年からの指導をしてくださっています。聞くところによると最近では、保護者の方も一緒に練習をされているようです。発表では、城先生はもちろん、児童も保護者の皆さんも生き生きと、力強く太鼓をたたいておられる姿がとても印象的でした。演奏した子どもたちにとっては、練習の成果を発表でき、達成感や満足感を得ることができたと思います。また、演奏を聴いた子どもたちの中には、「かついいな。自分もやってみよう。」と思った子が多かったのではないかと感じています。「やが和太鼓クラブ」のみなさん、来年もよろしくお願ひします。

毎年、防災フェアが終了するとその日のうちに反省会をしています。その中で、話題になったのが「先生バンド」です。「子どもたちがとても喜んでいました。是非、来年もやってほしい。」との声もいただきました。「先生バンド」は、昨年度、音楽専科の内藤先生を中心に夏休みから少しずつ練習してきました。日々忙しくなかなか時間が取れませんでしたができる範囲で頑張ってきました。地域のみなさんの声を先生方にも伝える来年度も挑戦したいと思っています。

この度、矢賀学区公衆衛生推進協議会様、矢賀学区青少年健全育成協議会様よりパンジーの苗をたくさんいただきました。ありがとうございます。子どもたちと一緒に大切に

育て、花いっぱい学校にします。

## 十二月の行事

- 2日(月)ふれあい学習(四年)
  - 3日(火)矢賀ちしや植え付け式
  - 5日(木)校内研修会
  - 6日(金)町探検(二年)
  - 7日(土)文化の祭典(音楽の部)  
合唱の部に3年生以上の有志が参加
  - 9日(月)ぴかぴか週間
  - 10日(火)昔遊びの会(一年生)
  - 16日(月)絵本の森(一・二・三年生)
  - 18日(水)こころの劇場(六年生)
  - 19日(木)教育相談
  - 23日(月)給食終了
  - 24日(火)学校朝会
  - 25日(水)休業開始
- 一月六日(月)まで

広島市立矢賀小学校

校長 原 徹



## 幼稚園だより

「一粒の種」

実りの秋も終わりに近づいてきました。秋と言えば、子供たちはどんぐりや花の種、木々の葉っぱが大好き。立ち止まるとは拾い、探して集めては遊びに使って楽しんでいきます。

例えばイチヨウの葉。鮮やかに黄色に色づいた葉を集めて花束に。例えば千日紅。ドライフラワーとして子供たちが作る額やブローチを彩ります。そして、種を大切に集める様子。その小さな粒が命をもっていることを習わずして知っているかのように見えます。綿の実のはじけて綿になり、子供たちが触つては「ふわふわ」と繰り返し感想をつぶやきます。かわいい模様のフウセンカズラのこぼれ種は、芽を出す時期を間違えたのか、花壇で発芽の首をもたげています。一粒の種の小さな神秘は、子供たちの好奇心の的でもあります。

今秋は、来年度広島で行われる全国緑化フェア「はなのわ二〇二〇」で、「たねダンゴ」を植えました。たねダンゴは、来年度広島で行われる全国緑化フェア「はなのわ二〇二〇」で、「たねダンゴ」を植えました。



何年も引き継がれている綿の種。今年もフワフワの綿が収穫できました。

おさな子は、よく種や発芽に例えられます。一粒の種に発芽と生長のためのエネルギーをギュッと蓄えてい

て、その力強さにしばしば驚かされます。私たち大人は、その種が本来持っている伸びようとする力を信じて、時には太陽となり、時には雨になる。よりよく生きたいという気持ち。すべての命が共通して持っている、一粒の種が教えてくれているような気がします。

## 十二月の行事

- 10日(火)わくわくランド
- 12日(木)うさぎルーム  
(もちつき)

広島市立矢賀幼稚園

園長 井筒 敦子

## 児童館だより

十一月十六日のふれ愛・イン・矢賀では「スタンプラリー」を企画しました。

普段は、あまり利用されない「チニングラダー」「うんてい」と「ろくぼく」と「平均台」にチャレンジしました。チニングラダーは、普段は、一人でジャンプして手が届かない児童は、ぶ

らさがることができません。しかし、今回は補助をしてもらい、棒にぶらさがりチャレンジできる減多にないチャンスでした。今回手がとどかなかったお友だちは、背が伸びたら再びチャレンジに来てくださいね。「ろくぼく」もいつもは手を伸ばせる位置が決まっていますが、その先のタンバリンにタッチしました。「ろくぼく」も今回限りの遊び方です。そして、いつもは目にするのではない「平均台」は、陰にかくれています。その平均台にチャレンジです。平均台こそ今回だけのことでした。チニングラダーとろくぼくは、使うことができるので、また、チャレンジに来て欲しいです。

十二月は、十二日にクリスマス会を矢賀地域活動クラブの方の共催で予定しています。当日はハンドベルとオカリナの演奏をするために1年生から4年生の十八人のお友だちが練習に励んでいます。みんな初めて手にする楽器です。素敵な演奏を聴きに来てください。その後、地域活動クラブの方からのケーキをいただきます。小学生の皆さんのたくさん参加をお待ちしています。

令和二年度放課後児童クラブの

入会の受付が来年、一月十日から始まります。詳細は広島市のホームページにも出ていますが、利用についてのご相談などございましたら、遠慮なく、児童館に直接ご連絡ください。

十二月の行事

12日(木)クリスマス会

19日(木)オセロ教室

広島市矢賀児童館

こんにちは  
保健師です



皆さん、十一月三十日が何の日かご存知ですか。「いい看取り、看取られ」の語呂から昨年、厚生労働省は十一月三十日を「人生会議の日」としました。

人生会議とは、「自分自身の考えを伝えられなくなった場合に備えて、

前もって考え、家族や身近な人と繰り返し話し合い、共有する取組」のことを言います。

将来「自分の身に、いつ、何が起こるか分からない」。自分がある日突然事故に遭ったら？病気を患ったら？認知症になったら？と、誰しもが漠然と感じている不安ではないかと思います。自分自身の人生をどう生き抜くか、もしもの時に備えて日頃から、しっかりと考えることが大切です。

この取組で大切なのは、「自分の考えや希望、思いについて話し合い、身近な人に伝えること」です。

また、記録を誰もが分かる場所に残しておくことで、もしもの時に自分の考えを代弁してもらうことに繋がります。

具体的には、広島県地域保健対策協議会作成のACPの手引き「豊かな人生とともに」私の心づもり」にわかりやすく説明があります。

①自分が大切にしている考え方や思いを考える。

②自分の健康状態を知り、どのような治療、過ごし方を希望するか考える。

③自分の考えを代わりに伝えてくれる人を選ぶ。

④自分の希望や思いを話し合う。

⑤自分の考えを「私の心づもり」に書く。

インターネットで「広島県 ACP」と検索しダウンロードするか、地域包括支援センター、地域支えあい課などで、相談時にパンフレットを配布していますので、ぜひご利用ください。

東保健センター地域支えあい課

☎082(568)7729

保健師 平西 桃子

祝弔生花・葬儀

・・創業昭和六年・・



株式会社

玉屋

シクシク

南区段原 TEL 261-4949

e-mail info@tamaya4949.jp URL http://www.tamaya4949.jp

玉屋ご相談サロン(本社前)

(費用・手順・お布施・家族葬・直葬など事前相談承ります)

幕張場//玉屋サンクスホール

蔵庫大通り